

コンテスト記念講演会 「サッカークラブと地域密着」

安達貞至氏(ヴィッセル神戸社長)

今年のリサーチ・フェアでは、ヤンマーディーゼルサッカークラブ・マネジャー、J1ヴィッセル神戸の社長を歴任された安達貞至氏をお招きして、豊富なビジネスおよびサッカークラブ運営経験に基づくコミュニティビジネス戦略をお話いただきます。総政の学生には必聴です。



ヴィッセル神戸は、地域に密着したクラブとして、地域の皆さんとふれあい、地域の元気づくりに役立てるような、さまざまな地域活動を展開しています。



「Jリーグ百年構想」

- あなたの町に、緑の芝生におおわれた広場やスポーツ施設を作ること。
- サッカーに限らず、あなたがやりたい競技を楽しめるスポーツクラブをつくること。
- 「観る」「する」「参加する」。スポーツを通して世代を超えたふれあいの輪を広げること。

ヴィッセル神戸はプロサッカーチームとしてサッカーをするだけでなく、地域貢献をすることが大きな目的のひとつとなっています。Jリーグの「ホームタウンにおいて、地域社会と一体になったクラブづくり(社会貢献活動を含む)を行い、サッカーをはじめとするスポーツの普及および振興に努めなければならない」という理念のもと、スポーツ文化の振興活動に取り組んでいます。

【安達貞至様のプロフィール】

- 1961年 関西学院大学商学部卒
- 1994年 株式会社ヴィッセル神戸強化部長に就任
- 1996年 株式会社ヴィッセル神戸常任取締役ゼネラルマネージャー昇格
当年11月退社
- 2005年 株式会社クリムゾンフットボールクラブゼネラルマネージャーに復帰。
同年6月、常任取締役就任。
- 2006年 代表取締役社長就任



現在までに、ヤンマーディーゼル株式会社にて大阪防災設備販売部長、東京陸用特販部長を歴任、ヤンマー東日本株式会社にて代表取締役社長、全日本スポーツ株式会社(横浜フリューゲルス)にてゼネラルマネージャー、株式会社ニシテックにて顧問、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)にてマッチコミッショナー等、数々の役職に就任。

